

第6回 小学校再編に関する地域住民説明会（芝田小学校区） 概要

- 日 時 : 令和元年10月29日(火) 19時開始
- 場 所 : 芝田小学校体育館
- 参 加 者 : 32名
- 教育委員会 : 小野寺教育長 他9名
(事務局)
- 内 容 : 1.開 会
2.教育長あいさつ
3.教育委員会職員紹介
4.配布資料確認
5.説 明
① 学校再編の目的
② 学校再編の具体的方針
③ 検討プロセス
④ 今後の進め方
6.質疑・応答(意見交換)
7.閉 会

地域・保護者等から出された主な意見と回答

○今後の進め方のアンケート調査、これは一般市民の人も全部対象にするのか。他の市でも行っているように、住民投票みたいな形ですか。それとも、一般の保護者の方を対象にした形ですか。

→ (回答)

今3,000人ということで説明したが、考えているのは、各年代、各小学校区を無作為抽出によりアンケート調査を実施する。

○それは、教育委員会で勝手に抽出するのか。

→ (回答)

無作為抽出なので。

○なぜ、勝手に抽出するのか。住民投票みたいな形で全部の地域で行ったらいいのでは。このようなものは、住民投票みたいな形でやるべきではないか。教育委員会の、都合のいい人だけを選ぶ、そんなことでは困る。

→ (回答)

あくまでも無作為抽出。こちらの都合のいい方だけではなくて、無作為で抽出する。

○信じられない。そのようなことで納得するのか、皆。

→ (回答)

あくまでも無作為抽出です。

○学校を再編すれば勉強がよくできるように書いてあるが、ただ大きくしただけで教育が徹底するかといえば、そんなことはないと思う。僕らも松中に行って、芝田小学校から松中、大きな学校に行った。やっぱり努力する人間が最後は報われる。ただ大きくしたから、再編して経費を少なくしたから、教育が徹底するかといえばそうではないと思う。そこらも十分考えていただきたいと思う。もう一点言いたいのは、小学校の区域であれば、この古い芝田校区には、協議会として、芝生協議会と田野町協議会とがある。伝統的な行事とかは、校区でそれぞれ地域に根を下ろしていると思う。どの小学校もみんなそうだと思う。この再編は、地域の住民としたらなぜそこまでして再編をしなければならないのかというような気がする。やはり、地域に根ざした学校は残すべきではないかと思う。

→ (回答)

先ほどのスライドの説明の中でも説明したが、これからの社会は、予測不能な社会と言われており、子どもたちは私たちが体験したことがないような、変化の激しい時代を生き抜いていかなければならない。いろいろな考え方を持つ子どもたちが集まる中で、他の子どもたちとも協力して、自分なりの価値を見つけて、どんなことが起こるか分からないような中でも、問題を解決していくような力をつけ、逞しく生きていく力をつけるためにも、ある一定規模があったほうが良いということで、基本方針のときからお話させていただいたと思う。

○今の発言は、教育委員会としての意見。僕らは地域住民としての意見を言っているのです。そこらは分かって欲しいと思う。

○大きい学校だったら予測不能な社会に対応できて、小さい学校だったら対応できないというのはおかしい。私が子どものとき、百姓仕事は牛を使って米を作っていた。今は違う。全然なしに、コンバインから始まって、ああいう機械化するなんて思ってなかった。それぐらい変化してきているはず。だから、大きくなったら困難に対応できて、小さかったら対応できないという説明はちょっとおかしいのではないか。もともと、再編の一番の理由はお金。財政が豊かなところであれば、再編なんか、なかなか頭にはないのではないか。お金がないから再編して、教育を削って、どこかにお金を使うということが基本にあるような気がする。財政が豊かであれば再編しようという話は出てこないと思う。

→ (回答)

財政が豊かであっても、人口の推移というものを、シミュレーションで、国立社会保障・人口問題研究所というところが作っており、たとえば、先ほど2030年度の生徒数をお示しさせていただいたが、この時点では、いわゆる複式学級になる可能性のある小学校は2校出てくる。その10年後の2040年度には3校の小学校が、これはあくまでも児童数の推計だが、3校。2050年度では、7校の小学校が複式学級になってしまう、というようなことで、財政の面だけではなく、児童が減ってきているということで、ある程度の規模を確保して、充実した教育を行いたい。それと併せて、施設の老朽化の時期も迫っているということで、今回再編の実施計画をお示しさせていただいている。

○複式学級を否定するのか。今まで日本の学校で複式学級はいっぱいある。現在もある。

→ (回答)

規模がある程度ある方が切磋琢磨をしやすいし、そういう教育環境が望ましいと教育委員会で考えている。

○今の小松島の教育は否定している訳やね。

→ (回答)

否定するのではなくて、よりよい教育が受けられるだろうということで、再編をさせていただくこととしている。

○それを言うなら南小松島小学校が、優れた教育をしていて、人数が少ない芝田は優れた教育をしていないということに繋がる。今言った事は極端かもしれないが、徒歩が基本と言うなら、南小松島小学校へ5校の児童が行く安全な歩道、子どもが安全に通える歩道を整備出来るのかどうか。どれだけのお金をかけて整備するのか。芝田から南に行くのであれば、一番歩道がある国道を通って行くのが安全かも分からないが、あれだけ車が通る所でいつどんな事故が起こるか分からない。田んぼの真ん中を行くきれいな歩道、そういうきちんとした通学路が可能かどうか。可能にしてもらいたいのは当たり前の事。

→ (回答)

先ほど、今後の進め方の所でも少し説明させていただいているが、通学部会というのを設けて、詳細については今後通学路の点検であったり、スクールバスをどういう走らせ方をするかというのを、再編が決まれば、そのことを詰めていくという計画でいる。

○スクールバスに乗れと強制するのか。私は歩いたほうで行きたいという人も出てくるはず。

→ (回答)

地図で説明したものは一応目安ということになっており、その円を超えていても、徒歩で通学される方は、徒歩通学でも可能。

○ですから、その通学路の整備をして下さいと言っている。

→ (回答)

通学路については、毎年通学路自身は点検を行っており、それぞれ国・県・市に安全対策について申し入れを行っており、今後も行っていきたいと考えている。

○去年の説明会のときに芝田は再編はしないでと、ほとんど会場の方が意見を言って、聞いて帰った。それで今日来て、芝田はなくしますというのは、私はひとつも納得できない。芝田小学校の住民が、大勢が残してと言っているのに、市役所が来て勝手に住民の反対を押し切ってまで小学校廃止出来るのか。おかしいと思う。地元の人がうちの学校は返上したいということで、そういうことであれば。住民の皆さんがそのような動きになったときにしたらいいのでは。それを抜きにして、住民の意図が残して下さいと言っているのに、今年来たらはやもうやめるといふ、私には理解できない。誰のための学校なのか。私も財政のためにやっていると思う。阿南の公共施設の管理面積を、床面積を阿南は18かな15%削減する。小松島市は20%削減するという計画を立てている。この計画の中に小学校は5校にすると書いてある。財政、総務省から、人口減少したから、公共施設をお金が掛かるから、学校や市営住宅を減らさないと言っている。それに基づいて市が2割減するという事を総務省に報告しているではないか。

11 小学校建て替えて、お金がいるから、まとめたら経費も少なくて済む、そういうことでやられているというふうに思われてならない。小さい学校はだめで、大きい学校がいいというそんな理論なんかない。今の日本の国で、そんなこと言っておるところどこもない、学説というか、そういう論文を書いている人なんか、いないというふうに私は聞いている。財政のためにやっていると言うことじゃないか。地元の意見が、ほとんどの方が反対なのにするのか。地元の方が学校を作っている。芝田だったら 100 年、120 年前地元の人が土地も融通ある程度して、協力して作っているのに、その学校を住民の人が残せと言うのに、ちょっと乱暴でないのかと思う。

→ (回答)

財政の面だけではなく、明らかに推計としては児童数が減ってきている、人口自身も減ってきているが、その中でもよりよい教育をしたい、また、それぞれの市内の小学校の施設自身の老朽化という問題もあり、今回の再編とさせてもらっているということ。財政だけの面ではなくて、児童数が減少してきている時代。例えば先ほども言った 20 年後には児童数が減ってきてしまい、複式学級になる規模の学校が 2 校、3 校現れ、またその 10 年後には、7 校になりというようなことで、今の推計では規模が小さくなってきてしまうということもあり、先を見据えた再編ということでご理解いただけたらと思う。

○20 年後の先がどうのこうの言っても、そのときにしたらいい。そのようになるかどうか分からないのに、推計と言っても。

○ほとんどの県内小学校がなくなったのは、そういう経緯、経過のところが多い。地元が是非統合して下さいと言ってなくなった。上から目線で再編するっていうことは少ない。私は今回の統廃合は、芝田小学校に限っては、廃校は絶対反対ということで、運動を続けていく。廃校させない。

→ (回答)

地域の方の声に反対があるのに再編を進めるのかということだが、地域の方からそれだけ人数が少なくなったときにしたらいいのではないかというご意見だが、やはり学校を建てていくには、時間がかかる。すぐにできるというようなものではない。計画があり工事期間もあってというふうなことで、やはり先を見通して子どもの人数はこうなる、そのときに子どもたちにとって少しでもよりよい環境を準備していきたいということで、計画をお考えいただけたらいいと思う。

○時間がかかるといようなことは違う。芝田小学校が例えば 20 人ぐらいになって、30 人ぐらいになって、南小学校に行くことになって、20 人や 30 人の児童が受入出来ないのか。いくらでも、学校は余っている。学級にすぐ出来る。芝田小学校に限ってだったら、今でも 80 しかいないので。

→ (回答)

今の施設がそのまま 30 年後も何も手を入れずに無事にずっとあるような小学校ばかりであれば、今、統廃合ということではないが、学校施設についてはずっと維持補修はしていかなければならないし、先ほど言った公共施設等総合管理計画では 60 年を目安にしている。建築物に関しては、80 年から 100 年もつ場合もあるので、どこまで使うかというのは、手を入れていかないとそのままでは老朽化していくので、そのような施設を再建築していくタイミングになってくる。児童数がこのままでは減っていく見込みである。今のタイミングでないと、ということで、今回らせていただいている。

○生きる力を付けるということで、学力とか心とか体力とか、言ってくれたが、統合しなければ学力が上がっていかない、合併したら学力が上がっていくという、そういうことを本当に方法があつてするのであれば言ってほしい。地域の中で子どもを育てていくという、そういう地域の中の教育力というのも一つよい面もある。体力のことも言ったが、統合したら体力が上がるのか。どう考えているか。

→ (回答)

再編することにより、学校数が減ることになる。そうすると小学校間であるとか、小中学校間での連携が図れるようになる。その中で、例えば中学校の専門的知識をもった先生が小学校に授業に出向いていたり、あるいは、子どもたち、小学校・中学校合同で行事を行ったりすることができる。

小規模校での教育を否定するというものではない。小規模のよさ、子どもたち同士が就学前はすごく仲がよく、助け合うであるとか、違う学年の子とも顔見知りで仲がよいなど小規模校の良さも分かっている。人数が少なければ、きめ細かく、ひとりひとりに対して目も行き届き、今どのような状況であるのかの把握も非常にしやすい。ただ、そこで授業をしていく中で、いつも決まったメンバーになるということで、例えば班学習とかグループ学習をしていくときに、どうしても同じメンバーの組み合わせになって、安心感にもつながるが、同じようなパターンの意見になり、もう少し違う意見が出たらいいのではという部分で、もっと人がいてくれたらいいなということもある。教員が授業をしていく中で、教員の方からその分工夫してやっていくが、やはり、教員側から知識やヒントを与えたりすると、同じ同級生の中から違った考え方を意見で言ってくれるというのは子どもたちにとれば、記憶の残り方も違ってくる。いろいろな性格の子どもや、違う個性を持った子どもの中から、子どもたちが学ぶという環境は、さらによりよい教育ということを考えるうえでは非常に大事なことではないのかと考えている。

○今、言っていることは分かるが、100人いたら100人の意見があるというが、100人いても100人の意見があるわけではない。小さい学校で、そういう意見が出てきて、その足りない部分をフォローするのが教員じゃないのか。足りない分は教員がフォローする、それが足りないと思うのなら、教育委員会の人が市内の学校の教員集めて、どのようにするか指導するのが仕事でないのか。

→ (回答)

子どもから出なければ、教員が授業の中で作って行ってやっていくが、子どもたち同士で話をしている中で、新しい回答を見つけていくこともある。子どもたちの中から出てきた答えには、教師自身も驚くような意見とか考え方を示してくることもある。多くの考え方の違う子どもたちが集まり、話し合いをして、協働活動していく中で新しい価値を見出したりすることで、教師も発見することがある。そのような点からやはり、小規模を否定するのではないが、さらにこれからの世の中を生きていくにあたっては、私たちも想像もできないような世の中がやってくるので、子どもたち同士でいろいろな視点から話をし、起こってくる問題に対して対応して行ってほしい、そのような力をつけて行ってほしいという意味から、複数学級あれば、そういった中から学び取ってもらえればと思う。

○そのような環境を作っていけばいいわけ。小さい学校だったら。多くの意見聞くことができる環境を作っていけばいいわけ、教育工夫して。それができないっていうのはおかしいのではないか。

○先生は複数学級のほうが教育効果が上がるとお考えなのか？教育委員会の統一した意見か。そういうことでよいのか教育長。そんな理論ない。個人的な意見を言うてはいけない。

→ (回答)

今の、結局、国の流れ、ないしはいろいろな学校の流れ、教育実践例等々の中で、今アクティブラーニングという言葉がわりに言われているが、子ども間同士で切磋琢磨をして、問題を解決していくことは非常に大切なのではないかというのは、私も重要なポイントではないのかなと思う。

○何人から何人がよくて何人がだめだ。そういうことはあるのか。5人はだめで20人だったらいいのか。

→ (回答)

そういう、何人という議論ではなくて、やはり、話し合いが出来るような環境であるとか、グループ学習が出来るような環境を求めるといのは、今の時代としたら、求めたい方向ではないのかなと考えている。

○グループ学習、グループ学習をするのに何人いるのか。複数学級でなかったら、グループ学習ができないのか。

→ (回答)

例えば、複式の学級であれば、どうしても教師がひとりで、学年二つの渡りの授業をしていくため、教師と子どもの関係が中心になる。そうではなくて、子ども同士の関係を保っていく、子ども同士の話し合いを充実させていくとなると、やはり、複式学級ではなくて、もう少し児童数の多い学級のほうがよいと思う。

○私が言っているのは、教育委員会は1学年複数学級のほうがよいというのは、教育委員会統一した意見なのか。

→ (回答)

前回の説明会、去年の説明会で、説明してきた方向で進めてきたのは事実。ただ、今回は、全部の学校でそうはならなかったということも事実。

○複数学級のほうが教育効果が上がるというのは、教育委員会統一した見解か。

→ (回答)

教育の方向性としてはそれを求めている。適正学級というような言葉でいわれているが、いくらでも多いほうがよいのかというと、これも問題がある。ただ何人がいいのか、与えられた条件によって教師は、工夫はしていくべきであるし、それをやっていく。

○隣の阿南市小学校が26校ある。そのうち4校が休校。実質22校。そのうち、22校のうち1学年1学級の小学校は18ある。今の教育委員会の説明だと、先程から1学年2学級ないと理想的な教育ができないと言っている。そうすると、阿南市の場合、22のうち18は1学年1学級。阿南の小学校の再編、統合が進んでいっているのか。

→ (回答)

阿南のことについては、私のほうで分からないのだが。県のモデル校では、椿町中学校と小学校で、小中一貫校の例があるというのは承知しているが、阿南の教育委員会がどのように進めているのかはこ

ちらでは分かりかねる。

○阿南市の教育の詳しい人に聞いてみた。阿南市は統廃合の計画はない、と言ってくれた。やはりこういうことを考えてみると、先程こちらの方が言われたように、財政問題が絡んでいるのではないかと、先程先生がとにかく1学年1学級では、これからの時代では難しいという言い方されたと思う。それでは、1学年2学級、小松島でいうと、南小松島小学校。私は千代校区なので1学年1学級。1学年1学級で学んだ子どもと、1学年2学級で学んだ子どもが、将来大人になったときに比較してみたら、どんな欠陥が出るのか。そういうデータあるのか。1学年1学級で教わった子どもが、小学生の子どもが、大人になったら、その時代の社会に、対応できないというようなデータがあるのだったら教えて。ないでしょ。少人数学校の生徒がだめで、多人数が素晴らしいっていう、そんなことを補償したデータはどこにもない。少人数学級の子どもの大人になったら素晴らしい成人になる子もいるし、複数学級の子でも、そうでもない大人もいる。教育の問題で数を言うたらいけない。文部科学省では学習指導要領で教えると言っている。指導要領というのがあり、指導要領に基づいてどの小学校もみんな先生は工夫をして、教育をしているはず。1学年1学級の子どもはだめということは絶対ない。先生悪かったらだめ。兵庫県みたいなじめの先生みたいなのがいたらだめ。それぞれの子どもが一人ずつ特性があって、いろいろな素晴らしい面もある。それを先生が見つけてあげ、伸ばしてあげたらいいと思う。だから、この度の11を4にするという、これあまりにも無茶苦茶過ぎる。住民アンケート、おそらく、教育委員会が11を4に決めると。どういう質問かは知らない。これに賛成か反対かどうかぐらい。そして、住民のアンケートは教育委員会は聞いたという形で既成事実にして、小学校を4校にしようとしている。阿南市の教育委員会は小松島市とは違う、統廃合なんか考えてない。阿南は財政が豊かだから、小松島みたいに減らすことを考えていない。千代校でも100年以上の歴史がある。小学校というのは地域になくってはならない。財政的な理由で小学校をバサバサーと切っていくって、先生には悪いが、財政的なことを切る理屈づけ、複数でなければいけないというのは。徳島県全体でどうか、どれぐらい統廃合するのか。教育委員会だから、他の自治体のこと、情勢とか情報を把握していると思うがどうか。小松島みたいにしているところがあるのか。

→ (回答)

市町村によっては、小学校の統廃合をしている所もあるが、具体的にどこでどのぐらいという数字を持っていない。

○小松島で学校再編やろうと思うなら、少なくとも徳島県内で、いったい、学校再編はどのぐらい進めているかという基礎データぐらいは集めて。

○私も再編については絶対反対の立場だが、アンケートを取ったわけではないが、芝田校区ではほとんどの方が再編については反対だと思う。それにもかかわらず、教育委員会は、再編についてどんどん進めているように思うが、他の10校区は過半数の方が賛成なのか。教育委員会がそのようにどんどん進めているということはどうか。

→ (回答)

基本計画のときの住民アンケートでは、学校数以外の項目では概ね7割程度の方が賛成あるいは概ね賛成の回答をいただいている。ただ、それぞれの校区でアンケートをそのときは取っていないので、今

回 12 月に行うアンケートが全市に行うアンケートが初めてとなる。その結果については今後分析していく。

○絶対反対の立場だが、芝田校区の場合、この資料を見たら、南小松島か児安に行くようになるのか。もし南中学校に行きたい場合だったらどうなるのか。小松島中学校に行くのであれば、南校か児安でいいと思うが、南中学校に行きたいのであれば、新開かあっちの方へ行くのか。

→ (回答)

現在の校区にすると、芝田小学校については、原則、小松島中学校校区となる。

○いや、教育委員会だったら把握していると思うが、芝田小学校の卒業生は、半数以上が南中学校に行っている。年によっては違うかも分からないが。

→ (回答)

それについては、各家庭のご事情によって、校区外申請というようなことで、南中学校に通われていると思う。

○南中学校に行きたいと思ったら、小学校は新開かどこかに行けということか。

→ (回答)

住所地によって校区が決まっており、希望とか自由に行けるというものではない。…

○自由ではなくなるということか、再編されたら。

→ (回答)

もともと自由っていう形にはなっていない状況。

○今の芝田の子だったらどっちに行ってもよいようになっている。

→ (回答)

校区外の申請をそれぞれなさって。

○再編されても理由があれば。

→ (回答)

基本校区は残すので、校区外の申請については、当然、理由がないと基本的には認めてない。

○とりあえずその何かの理由があって申請を出せば、通るか通らないかは教育委員会の判断か。

→ (回答)

そうです。

○今は皆通って行っている。どちらでも行っているということは、統廃合されてもそのようなことで認められていくわけか。

○芝田は、立江と小松島の中学校のときからそのときによって両方に行っていた。

○今でもどちらでも行けるのか。

→ (回答)

小松島中学校区になっているので、他の中学校、小学校に通われている方は、校区外の申請していただいて、ということ。理由がなくて好きなところに通えているということではない。現在もそうだが、この再編後もその方向で考えている。

○書類を出したら認めてくれるということ。

→ (回答)

書類を出していただき、教育委員会内で協議をして、その結果ということになっている。

○私はもともと、子どもが1年生で来るまでは、横浜でいて、幼稚園で一学年100人いた。こちらに戻ってきて自宅住所地がこちらなので芝田小学校だなど思ったが、正直、人数が少なくて嫌だなど思った。やはり人数が多い中でもまれてというのが経験としてあったので、多い方がいいなど思ったが、子どもが歩いて行くということが大事であって、ここに通わせることにしたがその中で人数が少ないと思いつつも、縦のつながりがすごいなど思った。横のつながりではなくて縦のつながり、6年生が1年生の皆名前を覚えているぐらいの、感じがある。そのような事はすごくいいと思うが、他の人数の少ない小学校はどうなのかは分からないが、ここはそういうふうな雰囲気があり、先生方もそうだと思うが、芝田小学校は先生方の中ですごい人気で、希望を出す人が多いと聞いたことがあり、小学校の雰囲気も芝田の子達はすごく素直で暖かく、田舎に守られている。のびのびしたところがあるという話を聞いたところがあり、統廃合することによりそれがなくなってしまうのが非常に残念だなど思うことがある。そのようなところも守りながら、子どもたちの教育にとって切磋琢磨できる場所、多人数がいた所で居たからこそ分かることころではあるが、さすがに10人前後っていうのは少ないと思いつつ、そのメンバーによっては逃げ場がなかったり、子どもたちの中で、女の子が5人6人しか居なくて、その中で高学年になって派閥が出来たときに、そういう逃げ場がなくなってしまう現実もあるので、ある程度それを回避出来るぐらいの人数が欲しいなど思いつつも、やはり、個々の学校のいいところは残って欲しいなど思っている。

○南校を建てるとしたら、津波のレッドゾーンの所へ公共施設を建てても構わないのか。

→ (回答)

公共施設を建てること自身は問題ないと考えているが、現在の11小学校、中学校も含めて、それぞれ津波の浸水域、全ての学校が入っている。浸水の深度については、場所によって差はあるが、今回4校再編ということで、南小松島小学校敷地としているが、防災の専門家等にも意見を伺ったときには、例えば今の南中学校みたいに、一階をほぼ使わないような構造にするであるとか、盛土をするであるとか、そのようなことによって、校舎でいることで津波が回避出来るようなことが、いわゆる建設の手法によって出来る。新しい施設を整備する際にはそのことを念頭に置いて、計画、施設設計を行っていきたいと考えている。

○2点ほど質問させていただきたい。1点目は、去年の基本計画の説明のときの内容と今回の内容が変

わっているが、基本計画のときの内容を聞いて私自身は、再編は仕方ないのかなという気持ちがあり、そのときに言わせてもらったのは、どうせ再編するのであれば、小中一貫のような、中学校の中に小学校を入れるというのではないが、「1中学校1小学校」でも思い切ってすればいいのではと去年の段階では思っていて、今回説明のときに期待してかなりいいものが出るのではと思っていたが、全然期待外れもいいところの4校。4校って何。なおかつ南小学校に千代と北校と小松島小学校に来てもらって、かなりの人数になって、児安と和田島を残すということ。児安の校区っていうのは変わらないのかと聞いたら、現状と同じとうこと。児安はかなり小規模になって、南小学校にかなり押し込められてという感じになる。それと、去年の段階では私は再編やむなしと思っていたが、今回のお話を聞かせてもらい、これはちょっと違うなという気持ちがかかなり強くなってきた。

それともう1点は、もし仮に南小学校に、現在でも学童保育という施設があり千代小学校の中でも放課後には児童館に子どもを見てもらうという施設がある。南小学校にかなりの子どもが来ると、現在どれくらいの学童保育的なものがあるかというのは把握してないが、統廃合になった場合、学童保育的なものは、設備というか環境は、それはどこがどういうふうにしてくれるのか。千代の児童館なんかは市のほうで運営してもらっているが、基本、学童保育っていうのはまた違う所もあるが、そのようなところはどうなるのかと思う。

→ (回答)

2030年度の児童数を予測し、1,125人とあるので、3校程度との数を出している。やはり、少しでも、一人でも多くの子どもたちが徒歩で通えるということで、4校案で出させていただいた。小中一貫を期待していたとお話だが、再編により、小中一貫の中身である、子どもたちの9年間の育ちを見通した子ども像を共有する理念の部分、小学校に中学校の教員が行き、小学校の中で授業を行うこと、小学校と中学校の合同の行事、小学校と中学校の教員で合同で研修会を行うこと、その仕組みについては取り入れることも可能。徳島県と鳴門教育大学で今後の人口減少社会の中での教育がどのようになっていくのかという研究が行われ、平成25年にその最終的な報告書が出された。おっしゃったような徳島での小中一貫を考えたうえでの教育の仕組みとなるが、そのような仕組みを小松島市でも、本市に合った形で取り入れられたらということで、考えている。このような内容も含め、今後準備委員会の専門部会、教育課程等部会等で研究し、小中一貫の仕組みを取り入れていけたらよいと考えている。

→ (回答)

現在、7つの小学校に全部で11の学童保育クラブがある。この再編の案で南小松島小学校敷地に再編する場合、南小松島小学校が5つの学童、小松島小学校が1つ、北小松島小学校が1つ、芝田小学校が1つと今考える8つの教室となる。施設整備の際に複合化として、学童保育クラブを想定しているが、各小学校の学童保育クラブが、現在の場所でいいのか、南小学校の敷地内へ移りたいのか、その学童の意向調査もできていない。厚労省の方針では、できるだけ小学校と同一敷地内で整備をとあるが、それぞれの学童さんがどうしたいかということもまだ決まってないと思う。現在、南小松島小学校では3つのクラブが校舎内、2つが校舎外で活動されており、その2つ自身は校舎内でできるよう調整をしている。

○南小学校に複数あるというのは、地区の事情か。

→ (回答)

地区というか、人数が多いので、5クラスみたいなイメージ。部屋の大きさによって定員も決まって

くるかと思うが、それぞれどういう運営をしていきたいかという意向調査をすることにより、何部屋にしてくるかというのは決まってくる。どうするのかというのは、基本的には、同一敷地内で行えるように、施設の整備のときに併せて考えていく。

○芝田地区の方には申し訳ないが、反対されているので、あくまでも前提として、南小学校を新しく校舎や施設を建て作り替えるという言い方でいいのか。そのときに、幼稚園は残すのか、なくすのか。

→ (回答)

平成 27 年度に就学前教育のあり方の中で、幼稚園、保育所、認定こども園の今後の方向性というのを決めており、幼稚園として単体で残すのではなく、保育所との統合、認定こども園化をしていこうという方向でいる。ただ、今の南幼稚園をどこにどの規模で建てるのかということは、まだ決まっていない。

○どこかに移転するという事？

→ (回答)

その可能性もある。

○敷地は南小学校と隣接している。南小学校施設を作り替える前提で、幼稚園も含めて南小学校にしてしまう、ということ。

→ (回答)

その可能性もあるし、別の場所で認定こども園にするという可能性もある。まだ、方針が決まっておらず、幼稚園単体としては残さない、認定こども園化をしていく方針で動いている。

○私の子どもも未就学児で、これから小学校に上がっていくが、その際、芝田小学校は計画案ではっきりしていないということもあるが、数年後に統合されていった場合に、時期的にある程度具体的に考えているのか。2030 年までという数字は出ているが、2 年後なのか、3 年後なのか、5 年後なのかというのは、この資料では分からないので教えて欲しい。

→ (回答)

資料の 4 ページの左の下の方のⅡ-③を…

○これでも、令和 3 年から令和 8 年の間に進めていくというだけで、その間どのように進めていくかというのは、徐々に進めていくのか。

→ (回答)

令和 3 年から令和 8 年の間に施設を整備する。

○令和 9 年以降に、今の計画案だったら南小学校と一緒にいる。極端に言うと、芝田に何年か行って、5 学年になって、場合によったら、統合される。一気に大人数のほうに、放り込まれるということになる。先程校区の話も出ていたと思うが、最初から動かない所、例えば、ここだったら児安、ここから南校に行くのだったら児安も極端に変わらない。私の家からだったら、児安も極端に変わらないので、最初から児安小学校を選びたいということで申請したら認められるのか。保育園自身も児安に行かせているので、逆に児安に行かせたほうが友達も既にいるので、ここがあるのであれば、ここに行く、子ども

に話しているが、将来統合されてなくなるという話だったら、最初から友達の居る児安小学校に通えるほうが、親としての考えでは、そのほうがいいかなと思っているので、申請したら認められると考えていてよいのか。

→ (回答)

校区外の申請の理由として、子どもの人間関係上、必要と認める状態もあるので、申請してからはなるが、その可能性は十分ある。